

■一般目標（GIO）

保存修復学の概念および基本的事項を学習し、各種修復法の基礎となる知識を理解する。また、各種修復法の特性と臨床手技について理解する。

■到達目標（SBOs）

- ① Minimal Intervention Dentistry 〈MID〉に基づく歯科治療の意義，臨床的対応を説明できる。
- ② 各修復法の修復材料とその取扱い，修復法の適応を説明できる。
- ③ 修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。
- ④ 修復後の管理の目的と方法を説明できる。

■教科書：1 最新歯科衛生士教本 歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法（医歯薬出版）

■参考書：1 保存修復学 第7版（医歯薬出版）  
2 保存クリニカルガイド（医歯薬出版）

■授業時間：月曜日 14：00～14：50

■オフィスアワー：小森谷 康司 月，火，水，木曜日 9：00～17：00，土曜日 9：00～13：00 (shiratsuchi.koji@nihon-u.ac.jp)

■授業の方法：スライドを使用し，適宜資料を配布する。

■準備学習・ 事前に必ず教科書を読み，授業内容を理解しておくこと。  
準備学習時間：各々授業時間相当を充てて復習を行うこと。

■成績評価方法：試験（100％）にて評価する。

■注意事項：講義に教科書を持参すること。

■実務経験：小森谷康司：現在，日本大学歯学部保存学教室修復学講座に在籍しており，日本歯科保存学会歯科保存治療専門医の資格を有している。歯科治療の経験を基に歯科医師の立場から保存修復学について，本教科で学ぶ内容の理論がいかに実際に活かされるかについて学ぶ場を提供したいと考えている。

■予定表

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1回4月8日 小森谷康司	1. 光重合型レジン修復 1)特徴と適応症 2)種類と組成 (教) pp. 38-52	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 光重合型レジン修復の特徴および適応症を理解する。</li> <li>・ 光重合型レジンの種類および組成を理解する。</li> </ul>
第2回4月15日 小森谷康司	2. 光重合型レジン修復 3)歯質との接着機序 4)修復の手順 (教) pp. 38-52	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 光重合型レジン修復の特徴を理解する。</li> <li>・ 歯質との接着のメカニズムを理解する。</li> </ul>

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第3回 4月22日 小森谷康司	2. 光重合型レジン修復 3) 歯質との接着機序 4) 修復の手順 (教) pp. 38-52	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 引き続き、歯質との接着のメカニズムを理解する。</li> <li>・ コンポジットレジン修復の一般的手順を理解する。</li> </ul>
第4回 5月13日 小森谷康司	3. ラミネートベニア修復 1) 特徴と適応症 2) 種類と窩洞の特徴 3) 修復の手順 (教) pp. 73-76	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ラミネートベニア修復の特徴を理解する。</li> <li>・ 間接修復法および直接修復法の特徴を理解する。</li> <li>・ ラミネートベニア修復の一般的手順を理解する。</li> </ul>
第5回 5月20日 小森谷康司	4. 審美インレー修復 1) 特徴と適応症 2) 種類と窩洞の特徴 3) 修復の手順 4) レジンセメント (教) pp. 61-63, 77-82	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 審美インレー修復の特徴を理解する。</li> <li>・ 種類および窩洞の特徴を理解する。</li> <li>・ 修復の一般的手順を理解する。</li> <li>・ セメントの種類、組成、特徴を理解する。</li> </ul>